



Fujitsu Sports Season Book

2025 ▶ 2026

Fujitsu Sports Season Book

2025 ▶ 2026

Track & field team
American football 'Frontiers'
Woman's Basketball 'Red Wave'
Activity, Action and Legacy



発行・制作

富士通株式会社

〒211-8588

Employee Success本部 企業スポーツ推進室

神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

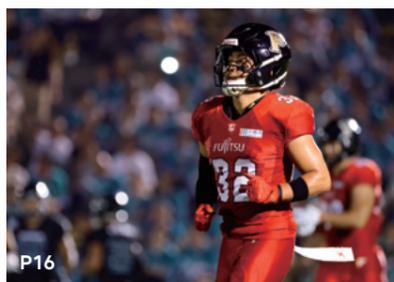
発行: 2026年2月

本紙掲載の文章、写真、イラストなどの無断転載・複製を禁じます。



CONTENTS

- 03 **Fujitsu Sports の力で
社会へポジティブな変化を**
- 04 スポーツを、富士通の価値創造を支える領域へ
- 06 スポーツ×テクノロジーで新たな価値創造
- 08 **Fujitsu Sport SDGs**
スポーツの力で持続可能な社会の実現へ
- 10 **Fujitsu Sports**
強化運動部紹介
- 12 **TRACK & FIELD TEAM ATHLETE'S & STAFF FILE**
富士通陸上競技部 選手・スタッフ名鑑
- 16 **FRONTIERS PLAYER & STAFF FILE**
富士通アメリカンフットボール部フロンティアーズ
選手・スタッフ名鑑
- 20 **RED WAVE PLAYER & STAFF FILE**
富士通女子バスケットボール部レッドウェーブ
選手・スタッフ名鑑
- 22 **KAWASAKI RED SPIRITS**
富士通男子バレーボール部
カワサキレッドスピリッツチーム紹介
- 23 **RED WOLVES**
富士通男子バスケットボール部 レッドウルブズ
チーム紹介
- 24 富士通水泳部 / 富士通馬術部 / 富士通ゴルフ部 /
富士通明石工場バレーボール部 (9人制)
チーム紹介
- 26 **FRONTIERETTES MEMBER & STAFF FILE**
富士通女子チアリーダー部フロンティアレッツ
メンバー・スタッフ名鑑
- 27 富士通強化運動部 最新情報



Fujitsu Sportsの力で 社会へポジティブな変化を

Fujitsu Sports
後援会・ファンクラブ

- 年会費無料・会員募集中!
- 陸上・アメフト・女子バスケを応援!
- 最新情報はメルマガで!

- グッズ割引やフィールドツアー・
公開練習、チケット割引など
無料特典が満載!

登録は
こちら! >



スポーツを、富士通の 価値創造を支える領域へ

富士通は、企業スポーツを通じて企業イメージの向上、地域社会との連携、従業員エンゲージメントの強化に取り組むとともに、顧客とのコラボレーション機会を創出し、ビジネスへの貢献を目指しています。さらに、長年続けてきたスポーツ支援を、社会に良い変化をもたらすだけでなく、未来の企業価値につながる“資産”として再定義し、2025年度にはマテリアリティに「スポーツ」を新たに追加しました。企業スポーツが育んできた選手・チームの成長、挑戦する文化、地域とのつながりなどの価値を、「Victory（勝利）」と「Value（価値創造）」の両立によってさらに広げ、社会と企業の双方にポジティブなインパクトをもたらす領域として位置づけています。

社会の期待と企業活動を結びつける スポーツの力

社会にも企業にも欠かせないテーマ——それが「人々のウェルビーイングの向上」です。富士通は、この価値をスポーツの力で実現するため、2025年度にマテリアリティへ「スポーツ」を追加しました。スポーツは、健康や学び、多様性の尊重、コミュニティ形成など、多方面からウェルビーイングに寄与できる分野です。

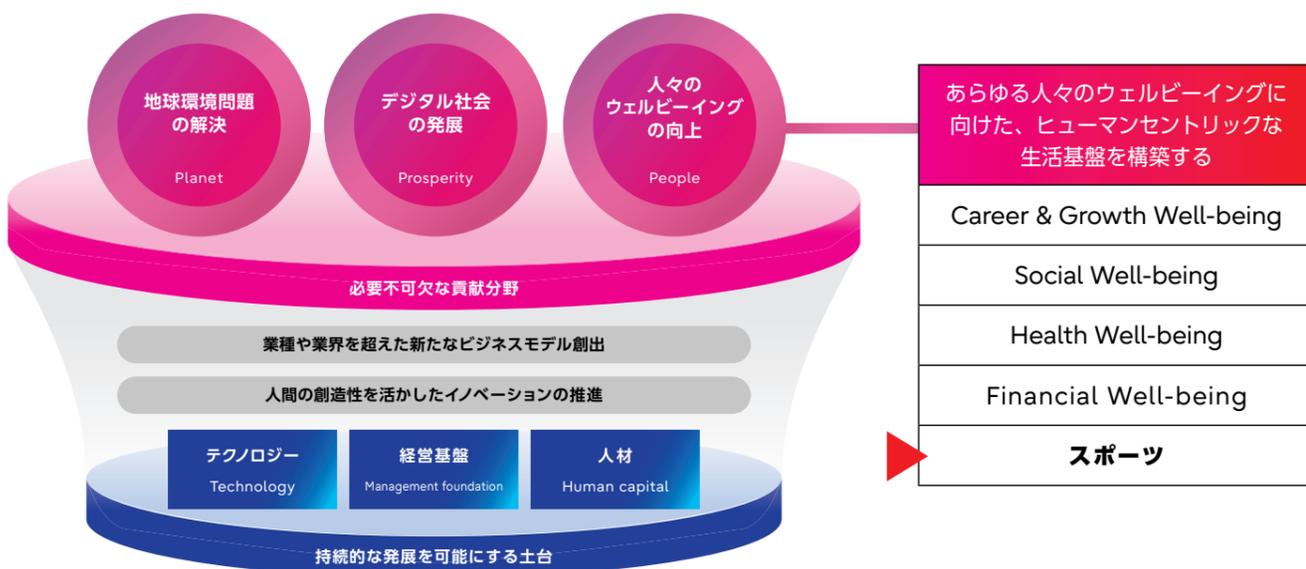
富士通は、この力を企業活動における価値として正面から活かし、社会との関わり方をより戦略的に進化させていきます。

企業資産としてのスポーツを 未来の価値創造へ

長年培ってきたスポーツアセット——アスリートの挑戦、競技現場の知見、地域に根ざした活動——は、ブランド価値向上にとどまらず、新たな事業創出や共創の場づくりなど、多面的な可能性を秘めています。

富士通は、こうした資産を社会価値と企業価値の双方を高める基盤として活用し、未来の価値創造へと発展させていきます。

富士通グループのマテリアリティにおけるスポーツの位置づけ



マテリアリティとは、企業が持続的に成長するために優先的に取り組むべき重要課題です。

近年では、事業戦略への組み込みが企業評価にも直結するなど、その重要性が高まっています。

富士通は、スポーツを図のようにマテリアリティに位置づけ、企業価値と社会価値をつなぐ新たな領域として取り組んでいます。

挑戦に終わりはない スポーツの力で、人と社会をつなぎ、ポジティブな変化を生み出す

■ Fujitsu Sports とは

スポーツの力で、 社会に貢献する富士通の挑戦

富士通が展開するスポーツ活動全体の総称です。陸上競技部、アメリカンフットボール部、女子バスケットボール部、女子チアリーダー部といった強化運動部に加え、男子バレーボール部や男子バスケットボール部などの一般運動部も含まれています。

また、練習環境や社内支援体制、長年培ってきたスポーツノウハウなど、広範なスポーツアセットも保有しています。

競技力の向上にとどまらず、地域貢献、次世代育成、社員の健康促進やウェルビーイングの向上など、スポーツの力を活かした多面的な取り組みを展開しています。

■ Fujitsu Sports の取り組み

Fujitsu Sports は、「Victory（勝利）」と「Value（価値）」という2つの「V」を軸に活動を展開しています。競技力の向上と社会的価値の創出を両立させることで、スポーツの新たな可能性を切り拓いています。

Victory（勝利）

トップレベルの競技力を追求し、感動と誇りを届けることを目指しています。選手の育成、戦略的な強化、ファンとの一体感を通じて、スポーツの本質的な魅力を発信しています。

Value（価値）

スポーツを通じて生まれる社会的価値を重視し、以下のような取り組みを展開しています。

- **地域社会への貢献**：川崎市との連携をはじめ、地域イベントやスポーツ教室などを通じて、地域住民とのつながりを深めています。
- **社員の共感とエンゲージメント**：スポーツを通じて社員の健康やモチベーションを高め、企業文化の醸成に寄与しています。
- **持続可能性とマネタイズ**：チケットの有料化やグッズ販売などを通じて、スポーツの価値を高める取り組みを行っています。
- **社会的インパクトの可視化**：国際的な指標「B4SI (Business for Societal Impact)」を活用し、活動の社会的価値を定量的に評価する取り組みも進めています。

■ Fujitsu Sports の人材

現役時代はもちろん、引退後も社内外で活躍できる人材を輩出しています。スポーツで培った経験やスキルを、次のステージでも活かせる環境づくりを進めています。

創部以来、各部“日本一”“世界一”を 目指し活動、各競技界を牽引



競技だけでなく、社業でも Fujitsu Sports のOB・OGが活躍

過去：「現役中は競技に集中すべき」が基本の考え方。

現在：「キャリアは自分で築く時代」。競技とキャリア形成はやり方次第で両立できる。企業スポーツ推進室は、個々の人のキャリア形成実現に向けて現役中からサポート。

アメリカンフットボール部

競技現役中から社業に従事。

陸上競技部、女子バスケットボール部

主に競技引退後より社業に従事（セールス、SE、コーポレートなど、さまざまな職場に配属）。

スポーツ×テクノロジーで 新たな価値創造

スポーツ分野における新たなイノベーション創出に向け、 グローバルパートナー共創プログラム 「Fujitsu Accelerator Program for SPORTS」を開始



【富士通株式会社・富士通グループ登壇者】
古濱淑子(執行役員常務)、常盤真也(企業スポーツ推進室長)、青野考(戦略アライアンス本部 Strategic Engagement Office Head)、浮田博文(富士通アクセラレーター代表)、三代直樹(陸上競技部 長距離ブロック長・コーチ)、岡田久美子(陸上競技部 競歩)、大久保社哉(フロンティアーズ 主将)、井澤秀野(フロンティアーズ ヘッドトレーナー)、日下光(レッドウェーブ ヘッドコーチ)、藤原英則(Human Digital Twin 事業部長)、植木誠二郎(株式会社ジー・サーチ 代表取締役社長)

【Guest登壇者】
勝崎俊行(鎌倉インターナショナルFC オーナー室長)、久保今日子(株式会社アクロフロンティア・株式会社Asian Bridge)、ジーノ・ゴードン(レッドフェニックスエンターテインメント CSO)
(順不同・敬称略)

見えにくい価値にこそ、 未来をつくる 可能性がある

富士通株式会社 企業スポーツ推進室長
常盤真也



「スポーツチームとして“勝利 (Victory)”を追求するのは当然ですが、それだけでは企業スポーツは持続できません。社会や事業とつながり、新しい“価値 (Value)”を創り出していくことこそ、これからの企業スポーツが果たすべき使命です。

とはいえ、スポーツにお金を投資したからといって、何がどのよう返ってくるのか——これは数字で語りづらい世界です。特に企業スポーツは、将来どこへ向かうべきか、その道筋を描くのが非常に難しい。だからこそ、外部の視点や技術を取り入れ、自分たちの“死角”を埋めていく必要があります。

今回立ち上げた本プログラムには、まさにそうした課題に向き合い、競技・運営・観戦というスポーツの現場そのものを革新するようなアイデアを、パートナーの皆さまからいただきたいという強い期待を込めています。富士通だけでなく、日本の企業スポーツ全体が持続可能なモデルへ進化していくための突破口にしたいと考えています」



「Fujitsu Accelerator Program for SPORTS」では、Fujitsu Sports と革新的な技術・アイデアを持つ企業の強みを融合し、共創を通じてスポーツ関連分野における新たな価値創出に取り組み、企業スポーツのエコシステム構築とスポーツ業界に革新をもたらすビジネス創出を目指します。

本プログラムは、スタートアップ企業を含むパートナーとのコラボレーションから生まれるアイデアがスポーツの現場に新たな変革をもたらすことを期待し、2025年12月にキックオフしました。2026年2月に応募を締め切り、3月に採択企業を決定、4月から実証実験を開始します。

当日は、エンタープライズ事業担当の古濱淑子執行役員常務、富士通アクセラレーターの浮田博文代表をはじめ、多くのゲスト登壇者が参加しました。詳細は、2026年1月14日に ASCII STARTUP に掲載された「富士通の強豪スポーツチームを「実証フィールド」に 未踏のスポーツビジネスへ挑むスタートアップ募集」をご覧ください。



当日の様子は
以下の動画からもご覧いただけます。



人の動きを科学する — HuMAP×富士通陸上競技部

AIで骨格を解析

6つのポイントで評価

総合結果	★★★★?
身体重心の上下動	★
接地位置と重心のスレ	★★★★?
体幹の角度	★★★★?
ひじの角度	★
すねの角度	★★★★?
ももの角度	★★★★?

重心のスコアが低いようです。重心の上下動が大きいと余分なエネルギーを消費するため、上下動の少ないスムーズなフォームを意識しましょう。

ひじのスコアが低いようです。ランニング中のひじの角度は90度に保ち、リラックスした状態で腕を振るようにしましょう。

※画像は富士通陸上競技部 青柿選手。
解析結果はサンプルです。



富士通グループの株式会社ジーサーチが開発する「Human Motion Analytics Platform (HuMAP)」は、AIで人の動きを解析し、競技力向上や新たな価値創出を目指す革新的な技術です。

この取り組みに富士通陸上競技部が協力し、長距離ブロックの青柿選手が実証実験に参加してランニングフォームの解析に貢献しました。

現場の知見と最新技術が融合することで、より精緻なモーションデータが得られ、スポーツの未来を切り拓いています。スポーツとテクノロジーの融合、その第一歩が、ここから始まっています。



公式チャンネルは
こちら



観戦をもっと楽しくする—RedWaveCoin×富士通レッドウェーブ

富士通は W リーグ第10週川崎大会 (12月20日・21日) の富士通レッドウェーブグッズブースにて、NFT 技術を基盤とした「RedWaveCoin」※1の実証実験を行いました。

これは選手やチームマスコット「レッディ」の画像入りコインを使ってキャッシュレス決済ができる体験型サービスで、スマートフォンから QR コード※2を読み取り、簡単にチャージや支払いが可能です。

コインは集めて楽しむことや、選んで使うことができ、さらにこのコインでしか閲覧できない特別メッセージや動画を掲載した限定コインも登場しました。

今回の実証では150名以上のファンが利用し、初の試みながら概ね好評で大きな手応えを得ました。今後は富士通スポーツ全体への展開も視野に入れています。

※1: NFT 技術を基盤とした電子通貨・決済の仕組み。様々なコンテンツ(画像・音声・動画)をコインに入れ込み、キャッシュレス決済「電子通貨」として提供。コレクション性があり広告も掲載可能なブロックチェーン技術を活用(特許取得済)。
※2: QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

実証イメージ

1 コインをチャージする

ユーザー

1 ヴィジュアルコインアプリを利用して、コインを現金チャージ

2 支払い金額に応じたコインをチャージ

2 コインで商品を購入する

ユーザー

1 店舗のQRを読み込み、コインを使って商品購入

2 差額に応じておつりコインを返却



ヴィジュアルコイン企画: リテール&サービス事業本部 サービス/サービスデリバリー事業部

Fujitsu Sports SDGs

スポーツの力で持続可能な社会の実現へ

Our Inclusive Future

スポーツ×アクセシビリティの未来

観戦のやすさがひろがる体験へ

センサリールームでのスポーツ観戦体験

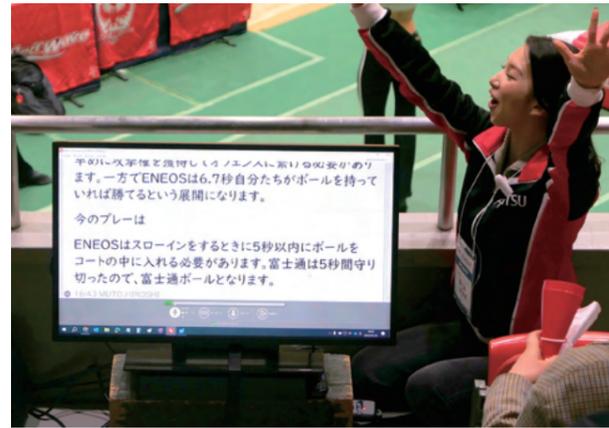
富士通は、誰もが安心してスポーツを楽しむ未来の実現を目指し、感覚過敏のある子どもとその家族に向けた観戦の機会を提供しています。2022年には、アメリカンフットボールXリーグおよび女子バスケットボールWリーグでともに初となるセンサリールームを会場に特別設置し、その後も主要大会やホームゲームへ導入を広げてきました。静かな空間で試合の熱気を感じられるこの取り組みは、スポーツ観戦の選択肢をひろげるものとして、『KIDS DESIGN AWARDS 2023』や『IAUD 国際デザイン賞2023（金賞）』を受賞しています。



※センサリールーム：大きな音や強い光、人込みが苦手な子どもたちでも安心して観戦できるよう、遮音などの工夫が施された特別観戦室。

アクセスマップ(バリアフリーマップ)の作成・配布

アクセスマップは、車いすやベビーカーでも安全に通行しやすいよう、段差・傾斜・障害物などが少ないルートを示した地図です。富士通は、スポーツを通じた共生社会の実現に向けた活動の一環として、Fujitsu Sportsの選手・サポーター・自治体・ボランティアの皆さまと協力しながら、バリアフリーマップの作成・配布に取り組んでいます。不定期でアップデートしていますので、スポーツ観戦の際にぜひご活用ください。



テクノロジーで広がる観戦のたのしさ (聾学校招待等)

富士通は、聴覚に障がいのある方を対象に、スポーツ観戦の情報アクセスを支える取り組みを進めています。聾学校の生徒を招待した昨年1月のレッドウェーブのホームゲームでは、富士通のツール「LiveTalk」で音声を文字に変換し、座席近くのモニターに表示することで試合の流れや見どころを視覚的に伝えました。また、音を体で感じる「Ontenna」を用いて富士通チアリーダー部の応援のリズムを振動と光で体感できるようにし、会場の一体感を共有しました。今年は新たに手話実況も実施し、より幅広い方々へ観戦のやすさがひろがる機会を提供しています。



※各種マップは、Fujitsu Sportsの公式WEBサイトからダウンロードできます。

Our Activity

スポーツ×学びの出発点

地元子どもたちとのスポーツ交流

川崎市は、スポーツ推進と市のイメージアップを目的に、地元トップ6チームを「かわさきスポーツパートナー」として認定しています。レッドウェーブ(2004年認定)とフロンティアーズ(2006年認定)もその一員であり、地域のスポーツ振興のみならず、教育・福祉・環境・まちづくりなど、多方面で地域社会への貢献を続けています。

■かわさきスポーツパートナー

市制80周年(2004年)事業の一環として始まった制度。川崎フロンターレ(サッカー)、川崎プレブサンダース(男子バスケットボール)、富士通レッドウェーブ(女子バスケットボール)、NECレッドロケッツ川崎(女子バレーボール)、富士通フロンティアーズ(アメリカンフットボール)、東芝ブレブアレウス(社会人野球)の6チームが多方面にわたる地域貢献を実施。



川崎市ふれあいスポーツ教室

川崎市ふれあいスポーツ教室は、「かわさきスポーツパートナー」に認定されたチームの選手が市内の小学校を訪問し、体育の授業時間を活用して子どもたちに実技指導を行う、地域密着型のスポーツ体験授業です。

レッドウェーブは2004年から参加し、バスケットボールを通じて子どもたちにスポーツの楽しさを伝えてきました。またフロンティアーズは2010年から本格的に参加し、現在ではフラッグフットボールだけでなく、アメリカンフットボールの動きを取り入れた実践的な授業も実施しています。選手と児童が直接ふれあうことで、スポーツを身近に感じる機会を生み、地域とのつながりを深める取り組みになっています。

Our Action and Legacy

スポーツ×コミュニティの未来

地域とつながる、もうひとつのフィールド

スポーツには、社会課題を解決し、未来を切り拓く力があります。富士通レッドウェーブは年間を通じて、「挑戦の支援」と「地域との共生」を軸に社会貢献活動を展開し、社会にポジティブな変化をもたらしています。

[マッチデープロジェクト]



フードドライブ・衣類リサイクルの取り組み

ホームゲーム会場を活用し、フードドライブと衣類リサイクルを実施しています。選手たちは試合前にWEBやSNSで呼びかけを行い、集まった食品は、神奈川県内の「子ども食堂」での食事提供や、生活に困っている家庭への支援に役立てられています。衣類は川崎臨海部のリサイクル工場に送られ、プラスチック成分が抽出された後、新たな繊維の原料や水素自動車の燃料、ドライアイスなどへと再活用されます。

10月ピンクリボン・11月オレンジリボン活動

シーズン中の10月に乳がんの早期発見・治療の大切さを伝える「ピンクリボン」、11月には子ども虐待防止を訴える「オレンジリボン」運動を推進しています。選手たちは試合時にピンクやオレンジのアイテムを身に付け、メッセージを発信。さらに会場では募金活動も実施し、各団体へ寄付しています。



■「Sports for Nature」のフレームワークに署名

富士通株式会社と川崎フロンターレは、「Sports for Nature」のフレームワークに賛同し、日本国内のスポーツチームとして初めて署名しました。フロンティアーズとレッドウェーブは、試合会場などでの衣類リサイクルを通じて、地域と連携した資源循環を進めています。これらの取り組みを通じて、スポーツファンに環境保護の大切さを伝え、一人ひとりの行動変容を促す存在を目指します。



※ Sports for Nature: 自然および天然資源の保全に関する国際同盟である国際自然保護連合、国際オリンピック委員会、国連環境計画、生物多様性条約事務局、およびドナ・ベルタレリ慈善財団が共同で立ち上げたイニシアチブです。2030年以降を見据えて、スポーツ界全体で自然保護に向けた抜本的な行動を推進することで、スポーツを通じた自然の保護や回復への貢献を目指しています。



富士通陸上競技部

1990年、それまで全国各地の事業所で活動していた部員を集結させるとともに、全国で活躍していた新卒者を迎え、富士通陸上競技部は発足しました。創部以来、国際大会へ多くの日本代表選手を輩出し、世界記録をはじめアジア記録・日本記録を更新する選手も多く、競歩・長距離・マラソンからトラック&フィールド（短距離・ハードルなどの一般種目、跳躍、パラ陸上）まで幅広い種目で選手が活躍しているのが大きな特長です。これからも日本陸上界をリードするチームとして「世界で戦える選手を育成」をモットーに常に進化を続けていきます。



富士通アメリカンフットボール部 フロンティアーズ

1984年、富士通グループのアメリカンフットボール経験者が集まり、同好会として発足。翌年の1985年、「仕事もフットボールも日本一に」をスローガンに、日本のアメリカンフットボール界の開拓者となることを誓い、チーム名を FRONTIERS（フロンティアーズ）と命名し、正式にスタートしました。以降、人気と実力の両面でXリーグを代表するチームへと成長し、2014年シーズンの初優勝を皮切りに、これまで4連覇、3連覇を含む計8度の日本一に輝きました。2026年シーズンは3年ぶりとなる日本一奪還を目指しています。また、活動拠点としている川崎市の「かわさきスポーツパートナー」として、地域貢献活動にも率先して取り組みつつ、常勝チームとしても社員・地域・ファンを盛り上げるべく、挑み続けています。



富士通女子バスケットボール部 レッドウェーブ

1985年、選手の自主性をモットーに創部。「赤い波が強豪チームを脅かす存在となるように」という思いから、1993年に“RedWave”（レッドウェーブ）と命名されると、それを体現するかのように、翌年には日本リーグ1部（現 Wリーグ）に昇格し、Wリーグを代表するチームへと成長しました。2024-25シーズンには、17年ぶりの皇后杯優勝、そして Wリーグ連覇の二冠を達成しています。今シーズンも頂点を目指し、チーム一丸となって戦います。また、チームは地域貢献活動にも積極的に取り組み、「かわさきスポーツパートナー」として、バスケットボールの普及とスポーツ振興に貢献していきます。



富士通女子チアリーダー部 フロンティアレッツ

元気！笑顔！勇気！スポーツでこころとカラダを健やかに！

フロンティアレッツ（Frontierettes）は、富士通グループを中心としたメンバーで構成されています。「スポーツでこころとカラダを健やかに！」をテーマに掲げ、ホームタウンである川崎市を中心に Fujitsu Sports の応援のみならず、地域活動や社会貢献活動などを行っています。



公式WEBサイトは QRコードから



Fujitsu Sports



SDGsへの取り組み



陸上競技部



フロンティアーズ



レッドウェーブ



フロンティアレッツ

TRACK & FIELD TEAM ATHLETE'S & STAFF FILE



富士通陸上競技部 選手・スタッフ名鑑



PLAYER'S PROFILE

PROFILE: ①生年月日 ②出身③出身校 ④所属 マーカー一覧: NEW = 新加入選手 CAP = キャプテン 掲載内容は2026年1月23日時点のものです。

110mH CAP

石川 周平
Shuhei Ishikawa

110mH 13秒36 (日本歴代9位)
60mH 7秒57 (日本歴代3位)

① 1995年05月29日
② 岩手県
③ 筑波大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

22年 オレゴン世界選手権 110mH 日本代表(準決勝進出)
23年 アジア競技大会(杭州) 110mH 5位
25年 全日本実業団選手権 110mH 優勝

400m

佐藤 拳太郎
Kentaro Sato

200m 20秒63
300m 32秒37
400m 44秒77 (日本歴代2位)
4×400mリレー 2分58秒33 (アジア記録)

① 1994年11月16日
② 埼玉県
③ 城西大学
④ ビジネスマネジメント本部

23年 アジア競技大会(杭州) 400m 2位
24年 パリ2024オリンピック 400m 日本代表、4×400mR 6位
25年 世界選手権(東京) 4×400mR 日本代表

400mH

豊田 将樹
Masaki Toyoda

400mH 48秒87

① 1998年01月17日
② 鹿児島県
③ 法政大学
④ FJJ)Public & Education 事業本部

19年 日本選手権 400mH 2位
19年 セイコーゴールデングランプリ東京 400mH 優勝
20年、22年 日本選手権 400mH 3位

100mH

田中 佑美
Yumi Tanaka

100mH 12秒80 (日本歴代4位)
60mH 8秒00 (日本記録)

① 1998年12月15日
② 大阪府
③ 立命館大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

24年 パリ2024オリンピック 100mH 準決勝進出
25年 日本選手権 100mH 優勝
25年 世界選手権(東京) 100mH 日本代表

400m

中島 佑気ジョセフ
Yuki Joseph Nakajima

200m 21秒31
400m 44秒44 (日本記録)
4×400mリレー 2分58秒33 (アジア記録)

① 2002年03月30日
② 東京都
③ 東洋大学
④ Employee Success本部

23年 世界選手権(ブダペスト) 400m、4×400mR 日本代表
24年 パリ2024オリンピック 400m 日本代表、4×400mR 6位
25年 世界選手権(東京) 400m 6位、4×400mR 日本代表

400mH NEW

井之上 駿太
Shunta Inoue

男子400mH 48秒46 (日本歴代7位)

① 2002年07月04日
② 大阪府
③ 法政大学
④ ナショナルセキュリティ事業本部

24年 日本選手権 400mH 5位
24年 第78回国民スポーツ大会 成年男子400mH 1位
25年 世界選手権(東京) 400mH 日本代表

400mH NEW

山本 亜美
Ami Yamamoto

400mH 56秒06 (日本歴代5位)

① 2002年04月19日
② 滋賀県
③ 立命館大学
④ FJJ)Public & Education 事業本部

24年 日本インカレ 400mH 1位
24年 日本選手権 400mH 1位(4連覇)
24年 日本選手権リレー競技 1位(1走)

棒高跳

江島 雅紀
Masaki Ejima

棒高跳 5m71 (日本歴代3位)

① 1999年03月06日
② 神奈川県
③ 日本大学
④ 総務本部

20年 セイコーゴールデングランプリ東京 棒高跳 2位
21年 東京2020オリンピック 棒高跳 日本代表
19年、22年、25年 日本選手権 棒高跳 優勝

走幅跳

橋岡 優輝
Yuki Hashioka

走幅跳 8m36 (日本歴代2位)

① 1999年01月23日
② 埼玉県
③ 日本大学
④ 広報IR室

23年 世界選手権(ブダペスト) 走幅跳 日本代表
24年 パリ2024オリンピック 走幅跳 日本代表
25年 世界選手権(東京) 走幅跳 日本代表

パラ100m **パラ走幅跳**

兎澤 朋美
Tomomi Tozawa

T63 100m 15秒55 (アジア記録)
T63 走幅跳 4m88 (アジア記録)

① 1999年01月14日
② 茨城県
③ 日本体育大学
④ 総務本部

24年 世界パラ選手権(神戸) T63 100m 2位、T63 走幅跳 2位
25年 日本パラ選手権 T63 100m 優勝、T63 走幅跳優勝
25年 世界パラ選手権(ニューデリー) T63 100m 7位、T63 走幅跳 5位

競歩

村山 裕太郎
Yutaro Murayama

5000mW 19分21秒11
10000mW 39分18秒11
20kmW 1時間19分04秒

① 1998年09月29日
② 兵庫県
③ 順天堂大学
④ ビジネスマネジメント本部

22年 東日本実業団陸上 5000mW 優勝
23年 アジア選手権(バンコク) 20kmW 優勝
23年 アジア競技大会(杭州) 20kmW 3位

競歩 2025年度引退

岡田 久美子
Kumiko Okada

5000mW 20分42秒25 (日本記録)
10000mW 42分51秒82 (日本記録)
20kmW 1時間27分41秒 (日本歴代2位)
35kmW 2時間44分11秒 (日本記録)

① 1991年10月17日 ② 埼玉県 ③ 立教大学
④ Employee Success本部

23年 世界選手権(ブダペスト) 35kmW 日本代表
24年 パリ2024オリンピック 男女混合競歩リレー 8位
25年 世界選手権(東京) 20kmW 日本代表

競歩

住所 大翔
Hiroto Jusho

5000mW 18分57秒24
10000mW 38分30秒37
20km競歩 1時間18分46秒

① 2000年01月11日
② 兵庫県
③ 順天堂大学
④ FJJ)Public & Education 事業本部

22年 日本選手権 20kmW 4位
23年 全日本輪島競歩大会 10kmW 優勝
23年 アジア選手権(バンコク) 20kmW 日本代表

長距離 CAP

坂東 悠汰
Yuta Bando

1500m 3分37秒99
5000m 13分18秒49
10000m 27分51秒10

① 1996年11月21日
② 兵庫県
③ 法政大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

20年 日本選手権 5000m 優勝
20年 東日本実業団駅伝 4区 区間賞
21年 東京2020オリンピック 5000m 日本代表

長距離 **マラソン** 2025年度引退

中村 匠吾
Shogo Nakamura

5000m 13分38秒93
10000m 28分05秒79
ハーフマラソン 1時間01分40秒
マラソン 2時間08分16秒

① 1992年09月16日
② 三重県
③ 駒澤大学
④ 総務本部

18年 びわ湖毎日マラソン 7位(日本人1位)
19年 マラソングランドチャンピオンシップ 優勝
21年 東京2020オリンピック マラソン 日本代表

長距離

横手 健
Ken Yokote

5000m 13分31秒35
10000m 27分58秒40
ハーフマラソン 1時間01分18秒

① 1993年04月27日
② 栃木県
③ 明治大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

22年 日本選手権 5000m 6位
22年 東日本実業団駅伝 4区 区間賞
23年 東日本実業団駅伝 5区 区間賞

長距離

潰滝 大記
Hironori Tsuetaki

3000m 8分01秒45
3000mSC 8分25秒49
5000m 13分39秒00
10000m 27分49秒80

① 1993年05月08日
② 和歌山県
③ 中央学院大学
④ 総務本部

17年 ロンドン世界選手権 3000mSC 日本代表
15年、16年、17年 日本選手権 3000mSC 優勝
23年 ニューイヤー駅伝 7区 区間 2位

長距離

松枝 博輝
Hiroki Matsueda

1500m 3分38秒12
5000m 13分23秒64
10000m 27分42秒73

① 1993年05月20日
② 神奈川県
③ 順天堂大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

21年 ニューイヤー駅伝 1区 区間賞
21年 東京2020オリンピック 5000m 日本代表
22年 日本選手権クロスカントリー競走 優勝

長距離

ベナード キメリ
Benard Kimeli

5000m 13分16秒61
10000m 27分20秒84
10km 27分10秒
ハーフマラソン 59分07秒

① 1995年09月10日
② ケニア
③ Kimoning High School
④ Employee Success本部

18年、19年 プラハハーフマラソン 優勝
20年 世界ハーフマラソン選手権 9位
23年 Riyadh Marathon 2023 Half-Marathon 優勝

長距離

塩尻 和也
Kazuya Shiojiri

3000m 7分46秒11 (日本歴代8位)
3000mSC 8分27秒25
5000m 13分13秒59
10000m 27分09秒80 (日本歴代2位)

① 1996年11月08日
② 群馬県
③ 順天堂大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

23年 アジア選手権(バンコク) 5000m 2位
21年 アジア競技大会(杭州) 10000m 5位
23年 日本選手権 10000m 優勝(日本記録)

長距離 **マラソン**

浦野 雄平
Yuhei Urano

5000m 13分29秒37
10000m 28分05秒37
ハーフマラソン 1時間02分02秒
マラソン 2時間06分23秒

① 1997年11月01日
② 富山県
③ 國學院大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

20年 日本選手権クロスカントリー競走 優勝
21年 ニューイヤー駅伝 7区 区間賞
22年 大阪マラソン・びわ湖毎日マラソン統合大会 3位

長距離

塩澤 稀夕
Kiseki Shiozawa

5000m 13分24秒44
10000m 27分56秒72
ハーフマラソン 1時間01分43秒



① 1998年12月17日
② 三重県
③ 東海大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

21年 日本選手権 5000m 5位
22年 東日本実業団駅伝 6区 区間 2位
23年 ニューイヤー駅伝 1区 区間 4位

長距離 マラソン

飯田 貴之
Takayuki Iida

5000m 13分39秒14
10000m 28分25秒08
ハーフマラソン 1時間01分30秒
マラソン 2時間09分34秒



① 1999年06月24日
② 千葉県
③ 青山学院大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

22年 十和田八幡平駅伝全国大会 4区 区間賞
(東日本実業団選抜チーム 優勝)
22年 東日本実業団駅伝 7区 区間 3位
23年 プラマラソン 5位

長距離

椎野 修羅
Shura Shiino

3000m 7分59秒65
5000m 13分43秒59
10000m 28分25秒29
ハーフマラソン 1時間02分03秒



① 1999年06月16日
② 愛知県
③ 麗澤大学
④ 総務本部

22年 十和田八幡平駅伝全国大会 2区 区間賞
(東日本実業団選抜チーム 優勝)
23年 東日本実業団駅伝 7区 区間2位

長距離 NEW

鈴木 康也
Koya Suzuki

5000m 13分59秒65
10000m 28分37秒68
ハーフマラソン 1時間02分06秒



① 2002年11月27日
② 千葉県
③ 麗澤大学
④ FJJ)ヘルスケア事業本部

23年 箱根駅伝予選会 個人44位
24年 箱根駅伝予選会 個人42位
25年 熊日30キロロードレース 6位

長距離 NEW

平林 樹
Itsuki Hirabayashi

5000m 13分36秒56
10000m 28分03秒13
ハーフマラソン 1時間02分49秒



① 2002年12月08日
② 東京都
③ 城西大学
④ FJJ)FJJ-JGG 本部

24年 関東インカレ1部10000m 2位
24年 全日本大学駅伝 8区 区間5位
24年 箱根駅伝 3区 区間7位

長距離 マラソン

中村 風馬
Fuma Nakamura

5000m 13分52秒19
10000m 28分49秒68
マラソン 2時間12分57秒



① 2000年01月05日
② 滋賀県
③ 帝京大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

22年 箱根駅伝 2区 区間8位
22年 ベルリンマラソン 33位
23年 東日本実業団選手権 10000m 21位

長距離

伊豫田 達弥
Tatsuya Iyoda

5000m 13分34秒19
10000m 27分45秒72
ハーフマラソン 1時間01分32秒



① 2000年07月18日
② 広島県
③ 順天堂大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

22年 箱根駅伝 3区 区間3位
22年 関東インカレ 1部 10000m 1位
23年 東日本実業団駅伝 6区 区間賞

長距離

小澤 大輝
Daiki Ozawa

5000m 13分33秒20
10000m 27分55秒74
ハーフマラソン 1時間01分15秒



① 2000年05月13日
② 静岡県
③ 明治大学
④ FJJ) Public & Education 事業本部

21年 全日本大学駅伝 4区 区間3位
22年 日本学生個人選手権 10000m 4位
26年 世界クロスカントリー選手権 日本代表

長距離

青柿 響
Hibiki Aogaki

5000m 13分47秒77
10000m 28分20秒42
ハーフマラソン 1時間02分44秒



① 2002年03月20日
② 埼玉県
③ 駒澤大学
④ FJJ)Public & Education 事業本部

22年 全日本大学駅伝 3位 2区 区間 10位
22年 箱根駅伝 3位 10区 区間 6位
23年 箱根駅伝 優勝 10区 区間 2位

長距離

高槻 芳照
Yoshiteru Takatsuki

5000m 13分49秒07
10000m 28分11秒99
ハーフマラソン 1時間02分19秒



① 2001年05月18日
② 福島県
③ 東京農業大学
④ FJJ)Public & Education 事業本部

23年 箱根駅伝予選会(ハーフマラソン) 12位
23年 日本学生ハーフマラソン 5位
24年 箱根駅伝 22位 1区 区間 11位

長距離 NEW

篠原 倅太郎
Kotaro Shinohara

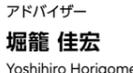
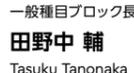
3000m 7分48秒59
5000m 13分15秒70
10000m 27分35秒05
ハーフマラソン 59分30秒
(日本歴代2位)



① 2002年09月03日
② 千葉県
③ 駒澤大学
④ Banking & Securities 事業本部

24年 全日本大学駅伝 7区 区間賞
24年 香川丸亀国際ハーフマラソン 4位(日本学生新記録)
26年 ニューイヤー駅伝 3区 区間賞(区間新記録)

STAFF PROFILE

 部長 林 恒雄 Tsuneo Hayashi	 後援会長 国分出 Iduru Kokubu	 ゼネラルマネージャー 笹野 浩志 Hiroshi Sasano	 監督 高橋 健一 Kenichi Takahashi	 総監督兼マラソン担当 福嶋 正 Tadashi Fukushima	 事務局長 吉川 三男 Mitsuo Yoshikawa	 長距離ブロック長 三代 直樹 Naoki Mishiro	 長距離ブロックコーチ 井野 洋 Hiroshi Ino
 長距離ブロックコーチ 高野 善輝 Yoshiteru Takano	 長距離ブロックコーチ 尾崎 貴宏 Takahiro Ozaki	 競歩ブロック長 今村 文男 Fumio Imamura	 競歩ブロックコーチ 森岡 紘一朗 Koichiro Morioka	 一般種目ブロック長 高平 慎士 Shinji Takahira	 マネージャー 並木 大介 Daisuke Namiki	 事務局 土井 友里永 Yurie Doi	
 顧問 肥塚 雅博 Masahiro Koezuka	 アドバイザー 堀籠 佳宏 Yoshihiro Horigome	 一般種目ブロック長補佐 田野中 輔 Tasuku Tanonaka					

2026年4月に活動拠点を神奈川県川崎市に移転

富士通陸上競技部は、2026年4月に活動拠点を、Fujitsu Sportsの本拠地である神奈川県川崎市に移転することを決定しました。

1990年創部当時は、日常的な練習は近隣の等々力陸上競技場（現Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu）や多摩川河川敷等で行い、合宿は千葉県等で実施していましたが、1997年に練習環境のさらなる充実を図るべく、千葉県千葉市に拠点を移し現在に至ります。

今回の川崎市への移転決定の背景として、Fujitsu Sportsの運動部集約による価値向上への取り組み強化があります。特に川崎市にお

いては、アメリカンフットボール部と女子バスケットボール部がホームタウンとしているトップチームの「かわさきスポーツパートナー」に認定され、既に20年以上にもわたって、競技普及やスポーツ振興に貢献しています。

陸上競技部も、これまで千葉県や千葉市をはじめ、所属選手の出身地等でのスポーツ教室の実績がありますが、2026年4月からは新たに「スポーツのまち・かわさき」に根付き、地域・ファンの方々へのポジティブな変化をもたらすことができるよう取り組んでまいります。

2026年度陸上競技部新加入選手紹介

 400m H 小川 大輝 Daiki Ogawa	 競歩 柳井 綾音 Ayane Yanai	 長距離 伊藤 蒼唯 Aoi Ito	 長距離 上原 琉翔 Ryuto Uehara
① 2003年4月17日 ② 愛知県 ③ 東洋大学	① 2003年12月24日 ② 福岡県 ③ 立命館大学	① 2004年1月12日 ② 島根県 ③ 駒澤大学	① 2003年5月5日 ② 沖縄県 ③ 國學院大学
自己ベスト 400mH 48秒61	自己ベスト 女子20km競歩1時間29分44秒	自己ベスト 男子5000m13分32秒88 男子10000m28分28秒15 男子ハーフマラソン1時間01分16秒	自己ベスト 男子5000m13分45秒58 男子10000m28分16秒76 男子ハーフマラソン1時間00分30秒

FRONTIERS PLAYER & STAFF FILE

富士通アメリカンフットボール部
フロンティアーズ
選手・スタッフ名鑑



PROFILE: ①生年月日/②身長/体重/③出身/④出身校/⑤所属 マーカー: NEW = 新加入選手/ CAP = 主将/ VICE = 副将 ※プロフィール掲載の各項目は2026年1月23日現在の情報です。

PLAYER'S PROFILE

#0 DL
ジョー マシス
Joe Mathis

① 1995年04月02日
② 191cm / 118kg
③ アメリカ
④ アシントン大学
⑤ Employee Success
本部(競技専任)

#1 DB
渡辺 裕也
Yuya Watanabe

① 1998年12月11日
② 180cm / 90kg
③ 埼玉県
④ 法政大学
⑤ プロセス製造事業本部

#2 RB
トラシオン
ニクソン
Trashawn Nixon

① 1992年04月04日
② 186cm / 106kg
③ アメリカ
④ ニューメキシコ州立大学
⑤ Employee Success
本部(競技専任)

#3 LB
久下 裕一郎
Yuichiro Kuge

① 1996年04月03日
② 172cm / 85kg
③ 大阪府
④ 立命館大学
⑤ FTI) アライアンス
事業推進室

#24 DB
二宮 政樹
Masaki Ninomiya

① 2002年01月23日
② 173cm / 82kg
③ 大阪府
④ 大阪大学
⑤ パブリック事業本部

#25 DB
中野 遼司
Ryoji Nakano

① 2002年06月10日
② 175cm / 80kg
③ 兵庫県
④ 関西学院大学
⑤ Banking&Securities
事業本部

#26 RB
横川 豪士
Goshi Yokogawa

① 2000年10月11日
② 175cm / 81kg
③ 兵庫県
④ 奈良県
⑤ 立命館大学
⑥ パブリック事業本部

#28 RB
香川 将成
Masanari Kagawa

① 1998年10月03日
② 165cm / 80kg
③ 兵庫県
④ 関西外国語大学
⑤ FTI) インフラ
事業本部

#4 RB
山崎 大央
Daichi Yamazaki

① 2002年10月28日
② 172cm / 78kg
③ 大阪府
④ 立命館大学
⑤ パブリック事業本部

#5 K/P
納所 幸司
Koji Noshio

① 1991年10月22日
② 178cm / 90kg
③ 福岡県
④ 久留米大学
⑤ FS&I事業本部

#6 LB
徳茂 宏樹
Hiroki Tokumo

① 1997年08月22日
② 176cm / 86kg
③ 大阪府
④ 明治大学
⑤ 総務本部

#7 DB
ブロンソン
ビーティー
Bronson Beatty

① 1994年03月07日
② 188cm / 90kg
③ アメリカ
④ 日本大学
⑤ Employee Success
本部(競技専任)

#29 DB
林 奎佑
Keisuke Hayashi

① 1998年07月10日
② 183cm / 92kg
③ 神奈川県
④ 立命館大学
⑤ プロセス製造事業本部

#31 DB
高岡 拓稔
Takumi Takaoka

① 1997年04月26日
② 180cm / 83kg
③ 神奈川県
④ 早稲田大学
⑤ ソーシャルシステム
事業本部

#32 DB
近田 優貴
Yuki Konta

① 1996年11月10日
② 169cm / 77kg
③ 神奈川県
④ 立命館大学
⑤ FTI) アライアンス
事業推進室

#33 TE
高口 和起
Kazuki Takaguchi

① 1993年07月02日
② 176cm / 102kg
③ 東京都
④ 日本大学
⑤ トヨタユニット

#8 QB
濱口 真行
Masayuki Hamaguchi

① 2001年01月18日
② 175cm / 75kg
③ 大阪府
④ 関西大学
⑤ ジャパン・グローバル・
ゲートウェイ

#9 DL
宮川 泰介
Taisuke Miyagawa

① 1998年02月26日
② 185cm / 105kg
③ 東京都
④ 日本大学
⑤ 総務本部

#10 WR
サマジー
グラント
Samajie Grant

① 1995年06月25日
② 175cm / 80kg
③ アメリカ
④ アリソナ大学
⑤ Employee Success
本部(競技専任)

#11 WR
木村 和喜
Kazuki Kimura

① 1998年05月26日
② 174cm / 79kg
③ 滋賀県
④ 立命館大学
⑤ テクノロジビジネス
マネジメント本部

#35 LB
竹内 修平
Shuhei Takeuchi

① 1989年03月03日
② 183cm / 100kg
③ 長野県
④ 日本福祉大学
⑤ ミッションフリティカル
システム事業本部

#39 DB
川村 智紀
Tomoki Kawamura

① 2001年04月22日
② 178cm / 86kg
③ 千葉県
④ 法政大学
⑤ ソーシャルシステム
事業本部

#40 DB
波田 和也
Kazuya Namita

① 2001年08月17日
② 170cm / 75kg
③ 大阪府
④ 関西学院大学
⑤ ナショナルセキュリティ
事業本部

#41 LB
前野 太一
Taichi Maeno

① 1997年03月05日
② 168cm / 82kg
③ 大阪府
④ 関西大学
⑤ プロセス製造事業本部

#12 DB
北川 太陽
Taiyo Kitagawa

① 1999年10月31日
② 183cm / 92kg
③ 神奈川県
④ 関西学院大学
⑤ モビリティ事業本部

#13 WR
高津佐 隼矢
Shunya Kotsusa

① 1996年08月27日
② 173cm / 79kg
③ 神奈川県
④ 法政大学
⑤ ビジネスマネジメント
本部

#14 DB
高口 宏起
Hiroki Takaguchi

① 1997年05月31日
② 174cm / 82kg
③ 東京都
④ 日本大学
⑤ FNETS) ビジネス
イノベーション本部

#15 QB
野沢 研
Ken Nozawa

① 1999年07月02日
② 178cm / 78kg
③ 神奈川県
④ 立命館大学
⑤ ソーシャルシステム
事業本部

#42 LB
前野 貴一
Kiichi Maeno

① 2000年09月05日
② 176cm / 87kg
③ 大阪府
④ 関西大学
⑤ セネラルビジネス
事業本部

#43 DB
井本 健一郎
Kenichiro Imoto

① 1995年12月14日
② 175cm / 80kg
③ 東京都
④ 慶應義塾大学
⑤ ソーシャルシステム
事業本部

#44 LB
趙 翔来
Shoki Cho

① 1994年12月08日
② 184cm / 100kg
③ 神奈川県
④ 日本大学
⑤ モビリティ事業本部

#45 DB
吉井 勇輔
Yusuke Yoshii

① 1998年07月16日
② 178cm / 85kg
③ 東京都
④ 法政大学
⑤ モビリティ事業本部

#16 WR
今中 希
Nozomu Imanaka

① 1997年02月12日
② 170cm / 79kg
③ アメリカ
④ カリフォルニア・
ポリテクニク州立大学
⑤ サンレイスオビスボ校
⑥ みずほFGユニット

#17 WR
糸川 創平
Souhei Itokawa

① 1997年05月21日
② 175cm / 78kg
③ 大阪府
④ 法政大学
⑤ ソーシャルシステム
事業本部

#18 QB
高木 翼
Tsubasa Takagi

① 1992年04月23日
② 185cm / 93kg
③ 東京都
④ 大阪府
⑤ 慶應義塾大学
⑥ Employee Success
本部

#19 QB
鎌田 陽大
Haruto Kamata

① 2002年02月24日
② 183cm / 84kg
③ 大阪府
④ 関西学院大学
⑤ Employee Success
本部

#20 DB
猪股 賢祐
Kensuke Inomata

① 2001年06月25日
② 169cm / 78kg
③ 東京都
④ 立教大学
⑤ カスタマーグループ
戦略室

#21 RB
三宅 昂輝
Koki Miyake

① 1998年11月15日
② 175cm / 80kg
③ 兵庫県
④ 関西学院大学
⑤ FS&I事業本部

#22 DB
阿部 裕介
Yusuke Abe

① 2000年04月14日
② 181cm / 80kg
③ 東京都
④ 日本大学
⑤ FJ)ヘルスケア
事業本部

#23 DB
丹羽 航大
Kodai Niwa

① 2002年04月13日
② 185cm / 81kg
③ 神奈川県
④ 慶應義塾大学
⑤ 金融ビジネスグループ

ラインバックラー

#47 LB
山岸 明生
Akio Yamagishi



① 1995年01月01日
② 182cm / 94kg
③ 東京都
④ 関西学院大学
⑤ パブリック事業本部

ラインバックラー

#50 LB
海崎 悠
Yu Kaizaki



① 1998年07月30日
② 173cm / 82kg
③ 大阪府
④ 関西学院大学
⑤ プロセス製造事業本部

ラインバックラー

#51 LB
山田 敦也
Atsuya Yamada



① 2000年11月01日
② 181cm / 90kg
③ 千葉県
④ 法政大学
⑤ FJ) ソーシャルシステム事業本部

ディフェンスライン

#52 DL
川出 奨悟
Shogo Kawade



NEW

① 2002年7月29日
② 180cm / 110kg
③ 東京都
④ 法政大学
⑤ ソーシャルシステム事業本部

ディフェンスライン

#90 DL
藤谷 雄飛
Yuhi Fujitani



① 1994年02月24日
② 182cm / 100kg
③ 大阪府
④ 関西大学
⑤ ビジネスマネジメント本部

ディフェンスライン

#91 DL
池田 泰一郎
Taichiro Ikeda



① 1997年10月17日
② 182cm / 105kg
③ 福岡県
④ 西南学院大学
⑤ ナショナルセキュリティ事業本部

ディフェンスライン

#93 DL
渋谷 力
Riki Shibuya



① 2001年05月10日
② 174cm / 108kg
③ 東京都
④ 京都大学
⑤ FJ)ヘルスケア事業本部

ディフェンスライン

#95 DL
宇田 正男
Masao Uda



① 1999年02月08日
② 175cm / 107kg
③ 静岡県
④ 日本大学
⑤ FJ)Public & Education事業本部

ディフェンスライン

#53 DL
高橋 孝綺
Koki Takahashi



① 1995年11月16日
② 182cm / 120kg
③ 神奈川県
④ 法政大学
⑤ FT)HRプロ)総務サービス本部

オフェンスライン

#55 OL
安東 純一
Junichi Ando



① 1996年05月04日
② 183cm / 126kg
③ 京都府
④ 立命館大学
⑤ ビジネスマネジメント本部

オフェンスライン

#60 OL
山下 公平
Kohei Yamashita



① 1993年07月19日
② 180cm / 115kg
③ 大阪府
④ 関西大学
⑤ 総務本部

オフェンスライン

#61 OL
藤原 快
Kai Fujiwara



① 2001年02月08日
② 180cm / 118kg
③ 愛知県
④ 中央大学
⑤ ソーシャルシステム事業本部

ディフェンスライン

#96 DL
岩本 隆源
Ryugen Iwamoto



① 1998年02月07日
② 180cm / 105kg
③ 大阪府
④ 近畿大学
⑤ 組立製造事業本部

ディフェンスライン

#97 DL
水谷 蓮
Ren Mizutani



① 2000年06月11日
② 186cm / 120kg
③ 大阪府
④ 立命館大学
⑤ モビリティ事業本部

ディフェンスライン

#98 DL
渡邊 日向
Hyuga Watanabe



NEW

① 2002年06月03日
② 190cm / 125kg
③ 千葉県
④ 日本体育大学
⑤ FS & I事業本部

タイトエンド

#99 TE
高橋 伶太
Ryota Takahashi



① 1990年10月14日
② 185cm / 100kg
③ 大阪府
④ 立命館大学
⑤ FNETS)コーポレートマネジメント本部

オフェンスライン

#64 OL
大久保 壮哉
Masaya Okubo



CAP

① 1997年12月07日
② 185cm / 137kg
③ 宮城県
④ 中央大学
⑤ FJ) ソーシャルシステム事業本部

オフェンスライン

#70 OL
山田 麟太郎
Rintaro Yamada



① 2001年02月02日
② 184cm / 129kg
③ 京都府
④ 立命館大学
⑤ Finance&Public事業本部

オフェンスライン

#71 OL
郭 宇寧
Yuning Kaku



① 1998年04月16日
② 188cm / 110kg
③ 中国
④ 日本大学
⑤ ソーシャルシステム事業本部

オフェンスライン

#73 OL
葉山 湖太郎
Kotaro Hayama



① 1998年12月11日
② 187cm / 113kg
③ 神奈川県
④ 桜美林大学
⑤ パナソニックGユニット

オフェンスライン

#75 OL
福田 涼介
Ryosuke Fukuda



① 2001年04月09日
② 191cm / 128kg
③ 大阪府
④ 日本大学
⑤ 組立製造事業本部

オフェンスライン

#77 OL
山口 輝
Akira Yamaguchi



① 1998年05月19日
② 190cm / 135kg
③ 神奈川県
④ 中央大学
⑤ FT)HRプロ)総務サービス本部

オフェンスライン

#78 OL
森本 恵翔
Keisho Morimoto



NEW

① 2002年08月02日
② 193cm / 124kg
③ 和歌山県
④ 立命館大学
⑤ Finance&Public事業本部

オフェンスライン

#79 OL
木坂 太一
Taichi Kisaka



NEW

① 2002年04月20日
② 187cm / 132kg
③ 京都府
④ 立命館大学
⑤ リテール&サービス事業本部

ワイドレシーバー

#81 WR
坂本 アントニー
マウネディ
Anthony Mawunedi Sakamoto



① 1997年04月06日
② 181cm / 83kg
③ 神奈川県
④ 神奈川大学
⑤ FJ)ヘルスケア事業本部

ワイドレシーバー

#82 WR
糸川 幹人
Mikito Itokawa



① 2000年08月24日
② 175cm / 81kg
③ 大阪府
④ 関西学院大学
⑤ グローバルマーケティング本部

ワイドレシーバー

#83 WR
柴田 源太
Genta Shibata



VICE

① 1995年10月05日
② 181cm / 89kg
③ 東京都
④ 慶応義塾大学
⑤ Employee Success本部

ワイドレシーバー

#84 WR
神 優成
Yusei jin



① 1998年10月26日
② 186cm / 84kg
③ 神奈川県
④ 法政大学
⑤ パブリック事業本部

ワイドレシーバー

#85 WR
松井 理己
Riki Matsui



① 1997年03月07日
② 185cm / 88kg
③ 兵庫県
④ 関西学院大学
⑤ ミッションクリティカルシステム事業本部

キッカー/パunter

#87 K/P
内山 尋貴
Hiroki Uchiyama



NEW

① 2003年03月21日
② 177cm / 88kg
③ 東京都
④ 日本大学
⑤ Banking&Securities事業本部

タイトエンド

#88 TE
田上 薫也
Yukiya Tagami



① 1998年06月18日
② 186cm / 88kg
③ 愛知県
④ 名城大学
⑤ 総務本部

タイトエンド

#89 TE
福井 雄哉
Yuya Fukui



① 1992年01月09日
② 187cm / 90kg
③ 岐阜県
④ 武蔵大学
⑤ FTI)システム・サービスサポート本部

STAFF PROFILE



部長
山田 徹英
Yoshiteru Yamada



後援会長
保田 益男
Masuo Yasuda



副部長
豊田 建
Ken Toyoda



ゼネラルマネージャー
常盤 真也
Shinya Tokiwa



ヘッドコーチ
山本 洋
Yo Yamamoto



事務局長
鈴木 将一郎
Shoichiro Suzuki

オフェンスコーディネーター

安木 達之
Tatsuyuki Yasuki

ディフェンスコーディネーター

海島 裕希
Yuki Umishima

コーチ

森 正也
Masanari Mori

グレゴリー ゴードン
Gregory Gordon

ケビン ライトナー
Keven Lightner

デイビッド パウロズニック
David Powroznik

平井 基之
Motoyuki Hirai

後藤 大地
Daichi Goto

金 雄一
Yuichi Kon

宜本 慎平
Shinpei Yoshimoto

勝山 晃
Akira Katsuyama

アルリワン アディヤミ

Al-Ritwan Adeyemi

バイロン ビーティー Jr.
Byron Beatty Jr.

中村 典正
Norimasa Nakamura

奥田 凌大
Ryota Okuda

佐藤 真美
Masami Sato

松場 智紀
Tomoki Matsuba

岡田 義己
Yoshiki Okada

奥野 公平
Kohei Okuno

ストレングスコーチ

田村 謙太郎
Kentaro Tamura

マネージャー

木南 里桜
Rio Kinami

内匠屋 咲紀
Saki Takumiya

伊藤 桃代
Momoyo Ito

近喰 春香

Haruka Konjiki

太田 佳奈
Kana Ota

ゴアラム
Norimasa Nakamura

佐々木 陽菜
Hina Sasaki

小杉 優
Yu Kosugi

栗田 琳
Rin Kurita

石田 千尋
Chihiro Ishida

道野 真優
Mayu Michino

野上 詩乃
Shino Nogami

クリエイター

対馬 隆太
Ryota Tsushima

アドバイザー

興 亮
Makoto Koshi

吉田 明宏
Akihiro Yoshida

ドクター

眞田 高起
Takaki Sanada

ヘッドトレーナー

井澤 秀野
Hideya Izawa

トレーナー

神永 健介
Kensuke Kaminaga



チーム公式
マスコット
フロンティア

RED WAVE PLAYER & STAFF FILE

富士通女子バスケットボール部
レッドウェーブ
選手・スタッフ名鑑



PROFILE: ①生年月日 ②身長 ③出身 ④出身校 ⑤所属 ⑥競技歴 **マーク一覧:** **NEW** = 新加入選手 **CAP** = キャプテン **SUB** = 副キャプテン **EARLY** = 新年度加入選手
※プロフィール掲載の各項目は2026年1月23日現在の情報です。

PLAYER'S PROFILE

#0 PG
山田 葵
Aoi Yamada
コートネーム
アオイ
NEW

①2003年02月10日
②167cm ③愛知県 ④筑波大学
⑤リテール&サービス事業本部
⑥瀬戸ミニバスケットボールクラブ
→ポラリス→東京成徳大学高
→筑波大→富士通

#2 SG
林 真帆
Maho Hayashi
コートネーム
マホ

①2002年02月22日
②174cm ③神奈川県
④東京医療保健大学
⑤FS&I 事業本部
⑥レッドサウス→中川中→岐阜女子高
→東京医療保健大→富士通

#7 SG
林 咲希
Saki Hayashi
コートネーム
キキ
SUB

①1995年03月16日
②173cm ③福岡県
④白鷗大学
⑤CEO室
⑥雷山ミニ→前原中→精華女子高
→白鷗大→ENEOS→富士通

#8 C
ジョシュア
ソフォンボン
テミトペ
Joshua Mfonobong
Temitope
コートネーム
テミ

①2000年03月18日
②190cm ③ナイジェリア
④東京医療保健大学
⑤みずほFGユニット
⑥高知中央高→東京医療保健大
→富士通

#23 SG
佐藤 華純
Kasumi Sato
コートネーム
ソフ
NEW

①2001年10月15日
②171cm ③アメリカ ④シカゴ大学
⑤Employee Success本部
⑥Colfax小中→Legendz Athletics
→Taylor Allderice 高
→シカゴ大→富士通

#25 SF
内尾 聡菜
Akina Uchio
コートネーム
キラ

①1997年08月16日
②177cm ③福岡県
④福岡大学附属若葉高校
⑤Employee Success本部
⑥小倉ミニ→南小倉中
→福岡大附若葉高→富士通

#52 PF
宮澤 夕貴
Yuki Miyazawa
コートネーム
アース
CAP

①1993年06月02日
②183cm ③神奈川県
④金沢総合高校
⑤リテール&サービス事業本部
⑥岡津小→岡津中→金沢総合高
→ENEOS→富士通

#81 PF
宮下 希保
Kiho Miyashita
コートネーム
キホ

①1998年10月06日
②178cm ③石川県 ④足羽高校
⑤ナショナルセキュリティ事業本部
⑥鶴来ミニ→鶴来中→足羽高
→アイシンAW(現アイシン)
→トヨタ自動車→富士通

#9 SG
赤木 里帆
Riho Akagi
コートネーム
ヨウ

①1998年08月04日
②167cm ③大分県
④東京医療保健大学
⑤パブリック事業本部
⑥豊府小→戸次中→桜花学園高
→東京医療保健大→富士通

#10 PG
町田 瑠唯
Rui Machida
コートネーム
ルイ

①1993年03月08日
②163cm ③北海道
④札幌山の手高校
⑥旭川西御料地ミニ→緑が丘中
→札幌山の手高→富士通
(ワシントン・ミスティクス→富士通)

#11 SG
前澤 滯
Mio Maezawa
コートネーム
シイ
NEW

①1991年09月12日
②167cm ③神奈川県
④松蔭大学
⑤Employee Success本部
⑥若葉台北小クラブ→旭中
→金沢総合高→松蔭大→富士通

#12 SF
奥 伊吹
Ibuki Oku
コートネーム
イブ

①1991年04月10日
②174cm ③奈良県 ④松蔭大学
⑤富士通企業年金基金
⑥辰市ミニ→京都精華女子中
→大阪薫英女学院高→松蔭大
→富士通

#91 PF
大脇 晴
Haru Owaki
コートネーム
ハル
EARLY

①2004年03月04日
②177cm ③山口県
④東京医療保健大学
⑥リベルタ→小部ミニ→山口市立小郡中
→慶進高→東京医療保健大→富士通

STAFF PROFILE

顧問
平松 浩樹
Hiroki Hiramatsu

後援会長
古濱 淑子
Yoshiko Furuhama

**部長兼
ゼネラルマネージャー**
吉田 大輔
Daisuke Yoshida

スーパーバイザー
丸山 茂実
Shigemitsu Maruyama

ヘッドコーチ
日下 光
Hikaru Kusaka

**トップアシスタント
コーチ**
後藤 祥太
Shota Goto

アシスタントコーチ
蔵楽 建斗
Taketo Zoraku

アナリスト
有賀 早希
Saki Ariga

ストレングスコーチ
平井 悠斗
Yuto Hirai

ヘッドトレーナー
大島 久美子
Kumiko Oshima

トレーナー
藤巻 みのり
Minorori Fujimaki

チーフマネージャー
原田 知歩
Chiho Harada

マネージャー
大原 千佳
Chika Ohara

マネージャー
芦崎 凜
Rin Ashizaki



チーム公式
マスコット
レディ

KAWASAKI RED SPIRITS



富士通男子バレーボール部
カワサキレッドスピリッツ
チーム紹介



RED WOLVES



富士通男子バスケットボール部
レッドウルブズ
チーム紹介



「明るく 楽しく そして強く」

私たちは、1979年の創部以来、「明るく 楽しく そして強く」をモットーに、仕事とバレーボールの両立に挑み続けてきました。スポーツ選手として最高峰の舞台で戦うことを目指すとともに、企業の一員として仕事においても責任を果たし、常にベストを尽くすこと。

その姿勢こそが、社員・地域・ファンの皆さまに愛され、信頼される唯一無二のチームであるための礎であると考えています。バレーボールを通じて多くの方に元気と感動をお届けできるよう、選手一人ひとりが全力で競技を楽しみ、いかなる困難にも真摯に向き合います。

その歩みを通じて、関わるすべての人々の well-being（心身の充実）に貢献し続けられるチームを目指し、これからもさらなる高みへ挑戦してまいります。

今後とも温かいご声援を賜りますよう、お願い申し上げます。

1979年に川崎工場の9人制から派生する形で発足。寄せ集めのメンバーから口コミで集まった経験者を中心に力をつけ、1983年の第4回東部地域リーグに初参戦。上位リーグであるV1昇格を目指し奮闘するも長年結果が振るわず、23シーズン目の2006年に念願のV1昇格を果たす。

2006/07シーズンよりV1リーグから改称した、V・チャレンジリーグに参戦。2008/09シーズンから3シーズン連続で準優勝、V・プレミアリーグとの入替戦を戦っている。2015/16シーズンには念願の初優勝を果たし、2017/18～2020/21の4シーズンは全て優勝。（うち2020/21シーズンは全勝優勝）2018/19シーズンからV-DIVISION2としてリーグが再編されたが、2006年の参戦から通算18シーズンを2nd カテゴリーと位置付けられるリーグに所属し続け、2023/24シーズンまでに370試合を戦い290勝80敗（勝率78.4%）という安定した強さを見せている。

〈カワサキレッドスピリッツの由来〉

富士通発祥の地である「カワサキ：川崎市」と当時の富士通のコーポレートカラーである「赤：ヒューマニティレッド」に燃え上がる様な熱い「精神、魂」をイメージとして表現し、更にはスローガンの「明るく、楽しく、そして強く」をイメージさせる「快活さ」それらすべてを総合して「カワサキレッドスピリッツ」というチーム名を制定しました。



「明るく、元気に、ひたむきに」

富士通男子バスケットボール部 レッドウルブズは、1946年 富士通信機製造（現富士通）に入社した池田敏雄専務により、創設された実業団チームであり、全国でも有数の歴史と伝統のあるチームです。創部以来、旧関東実業団バスケットボール連盟へ加盟し、現在は全日本社会人バスケットボール連盟 SBL-SB1 トップリーグ（全8チーム）で活動しております。

現在は、選手17名とスタッフ7名が在籍。川崎市を拠点に、文武両道を目指しながら、アマチュア日本一を目指して活動しています。また、当部はスポーツの強化・普及を目的に、地域社会貢献活動として、連盟主催のバスケットボールクリニックや震災復興支援としてバスケットボールクリニック開催など、競技以外の場でも積極的な活動を行っております。



かわさきスポーツアンバサダー

富士通カワサキレッドスピリッツは2023年4月、レッドウルブズは2025年4月に川崎市の「かわさきスポーツアンバサダー」に認定されました。

「かわさきスポーツアンバサダー」は、川崎市内を拠点とした競技活動に加え、意欲的に地域貢献活動を展開しているスポーツ団体に与えられる認証で、認定から3年間活動します。



富士通水泳部 チーム紹介

富士通水泳部は、1953年に当時の川崎工場の水泳経験者を中心に創部し、今年で創部71年になる歴史と伝統のあるチームです。

「文武両道」モットーに、日々の業務とトレーニングに励んでいます。創部以来、全日本級の選手や日本選手権・ジャパンオープン・ワールドカップ等の大会で入賞する選手を多数輩出しており、日本水泳界を代表する社会人チームとして活動してまいりました。近年は、パラアスリートも加入し、ジャパンパラ競技会・日本パラ水泳競技大会で優勝するなど、輝かしい成績を残しています。

現在は、16名の選手が在籍し、一人一人が企業スポーツ選手としての自覚を持ち、競技だけではなく、水泳やトレーニングを通じてもっと元気に、未来に繋がる社会貢献にも取り組んでいます。



Swimming

富士通ゴルフ部 チーム紹介

2002年に創部。翌年に全日本実業団に初出場したゴルフ部は、新入社員から経営層まで幅広い層で構成され、富士通グループの「Fujitsu Way」を体現し、ゴルフを通じてその価値観を社会に訴求することを理念としています。

現在の目標は、「日経カップ企業対抗ゴルフ選手権」へ出場・シード権獲得で、部員は仕事と部活動の両立を図りながら、個々の効率的な練習と選手間の競争を通して、部全体のレベル向上に努めています。スポーツマンシップを重んじ、ラウンドを通じて「気持ちいい人達」として認識されることを目指しています。日々の練習に励み、チームとして成長を続けています。



Golf

富士通馬術部 チーム紹介



1956年、当時の川崎工場に創部。コース上の障害物を早く、かつミスなく飛び越える技術の高さとタイムを競う「障害馬術飛越競技」に取り組み、現在は35名の部員が活動しています。

合同練習や合宿を重ねて技術力と団結力の向上に励み、2014年に「全日本実業団障害馬術大会」で初優勝を飾ると、2016年、2018年、2021年に優勝を果たし、中級、初級者向け「JBG ホースフェスティバル」では4大会連続団体優勝という輝かしい実績を残しています。

今年度の目標は、全日本クラスとなるこの2大会で団体優勝することで、既に「JBG ホースフェスティバル」は団体優勝を果たしました。今後も人馬一体の美しさと競技への情熱を胸に、新たな挑戦を続けていきます。

Equestrian

富士通明石工場バレーボール部(9人制) チーム紹介



1968年、富士通明石工場〔当時 富士通周辺機(株)〕に創設されたバレーボール部を起源とする9人制バレーボールの実業団チームです。

創部以来、国民体育大会など数々の国内主要大会で通算35回の日本一を達成した、全国でも歴史と伝統のあるチームです。

現在は兵庫県を拠点に仕事を第一に、競技と両立しながら日々練習に励み、2025年にはトップリーグにて優勝を果たして17年ぶりの日本一に輝きました。

地域貢献活動としても兵庫県と障害者スポーツ応援協定を締結し、シットイングバレー大会への参加や小中学生向けバレーボール教室の開催、練習環境周辺の清掃活動など、競技以外の場でも積極的に活動しています。

Volleyball



FRONTIETTES MEMBER & STAFF FILE

富士通女子チアリーダー部フロンティアレッツ
メンバー・スタッフ名鑑



①出身校 ②ダンス歴 ③アピールポイント CAP = 主将 VICE = 副将 ROOKIE = 新人



Yume
①法政大学②クラシックバレエ、パントワリング、チアリーディング③ダイナミックに熱い想いを伝える訴求力



Momoe
①日本女子体育大学②ソングリーディング③ジャンルを問わないダンス力と安定したパフォーマンス



Takayo
①日本大学②チアリーディング③艶やかなキスマイルとキラキラのあるモーション



Suzu
①中央大学②チアダンス、モダンバレエ③多彩で可愛い表情



Rino
①中央大学②チアダンス、クラシックバレエ③柔らかく周りを包み込む雰囲気とチア仕込みのテクニック



Keika
①玉川大学②チアダンス、ジャズモダンバレエ、タップダンス、ヒップホップ③オールラウンダーな表現力



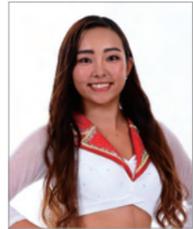
Sara
①法政大学②チアリーディング③首を引き寄せるパワフルなボイス



Momoka
①桜美林大学②ソングリーディング、新体操③柔軟な身体と思考で魅せる、臨機応変な対応力



Kana
①法政大学②モダンバレエ、チアリーディング③底抜けの明るさからあふれる Big Smile !!



Yuuka
①早稲田大学②フラダンス、タヒチアンダンス、チアリーディング③ファンキーなオーラを放つアクティブさ



Miari
①早稲田大学②クラシックバレエ③大きな目で引き込むお客さんへのアイコンタクト♡



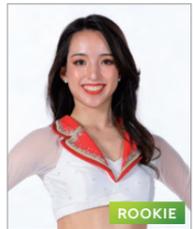
Kiho
①関西学院大学②ジャズダンス、チアダンス、チアリーディング③しなやかで上品な表現とハスキーボイスのギャップ



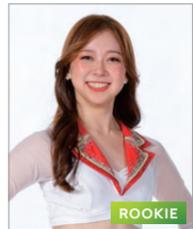
Wakaba
①日本女子体育大学②チアダンス、モダンダンス③ダンスでエネルギー溢るパフォーマンス



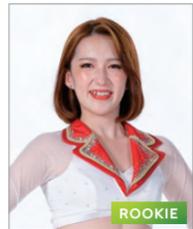
Uka
①立命館大学②チアリーディング、パントワリング、ステージダンス③細部までこだわった表情と美しいヘアエフェクト



Kyoko
①上智大学②チアリーディング、クラシックバレエ③素直な気持ちと感情を込めたまっすぐな表現力



Akari
①日本女子体育大学②チアダンス、クラシックバレエ③観ている人を明るくする、溢れるバイタリティ



Hiyori
①中央大学②チアダンス、クラシックバレエ③全身で表現するダンスと表情で魅せる存在感

STAFF PROFILE

部長
常盤 真也
シニアアドバイザー
金丸 朋幸
スタッフ
山岸 亜未
高山 あか理
阿部 美寿々
片平 瑞歩
久保田 志真子
倉橋 萌菜
小寺 夕理
篠崎 香那
田中 菜
西田 朱里
チームアドバイザー
田上 由美子



富士通強化運動部 最新情報

応援ありがとうございました!

2025年12月～2026年1月主要大会

陸上競技部

第70回全日本実業団対抗駅伝競走大会 (ニューイヤー駅伝2026inぐんま)

総合10位

2026年1月1日(木) 群馬・前橋

■区間成績

1区 (12.3km)	塩澤 稀夕	34分28秒	(区間8位)
2区 (21.9km)	浦野 雄平	1時間04分34秒	(区間30位)
3区 (15.3km)	篠原 侅太郎	42分53秒	(区間1位) ※区間新記録
4区 (7.6km)	塩尻 和也	20分56秒	(区間9位)
5区 (15.9km)	伊豫田 達弥	47分13秒	(区間16位)
6区 (11.4km)	横手 健	33分11秒	(区間2位)
7区 (15.6km)	瀧滝 大記	46分05秒	(区間5位)



一時は順位を落としながら選手はよく挽回してくれました。今大会では全ての区間で選手たちに設定タイムを設け、6人がそのタイムをクリアしたにも関わらず結果に繋がりませんでした。これからはタイムだけでなく、駅伝の走り方も練習すること。勝ちたいという気持ちはもちろん、一緒に走る選手に競り勝つ強さが必要。来季も有望な選手たちが加入予定です。個々のレベルアップはもちろん、駅伝で勝つチームを作っていきたいと思います。(高橋健一監督)



アメリカンフットボール部 富士通フロンティアーズ

2025年度ライスボウルトーナメント

BEST4

2025年12月13日(土) ヤンマースタジアム長居



パナソニック

23 - 20



富士通

今季は怪我人が多く、しんどいシーズンでした。なかでもリーグ戦で2敗してからディフェンス陣の立て直したところが今日のゲームにも出ていたと思います。一方のオフェンスは世代交代もありますが、それだけじゃなくタイトエンドが機能しなかったのも課題。そうした状況でも勝ち続けるにはどうすればいいか。フィールドに立った選手が活躍するしかない、選手、スタッフが力をつけなければなりません。来季、成長した姿を見せられるように、取り組んでいきたいです。今シーズンもたくさんの応援をいただきありがとうございました。(山本洋ヘッドコーチ)

女子バスケットボール部 富士通レッドウェーブ

第92回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会

3位

ファイナルラウンド【準決勝】
2026年1月6日(火) 国立代々木競技場第二体育館



デンソー

81 - 60



富士通



一発勝負のトーナメント方式の中で2回戦・準々決勝と勝ち進みましたが、準決勝でデンソーの好調に押し切られ大会を終えました。大会を通して、スタートメンバーの勢いに続きベンチスタートの選手たちが試合のリズムを繋いでくれたり、時には加速してくれたことは収穫だと感じています。一方で、相手に流れを掴まれた時にディフェンスで我慢することができなかった部分は反省点です。今大会で得た課題と向き合い、引き続きチーム力の向上に尽力していきます。皇后杯もたくさんの応援をありがとうございました。(日下光ヘッドコーチ)